

■秋本番に向けてルール改正を学ぶ

北海道学生アメリカンフットボール連盟主催のルールクリニックが7月28日、札幌市西区のちえりあで開かれた。9大学の主将ら16人が、道アメリカンフットボール協会審判部の田畑貴英部長から、今季の改正点などを学んだ。

8月25日開幕の第50回北海道学生選手権（秋季リーグ）を前に、試合の基本となるルールを確認するのが狙い。田畑部長が「ルールは、気持ち良く正々堂々とプレーするための約束事」と前置きして、ヘルメットで相手選手の頭部へ衝撃を与える「ターゲティング」に対する罰則強化などを説明した。「負傷を装うなどのスポーツマンらしくない行為。TD後の喜びの表現もやり過ぎると、相手チームへの侮辱になる」とプレーマナーの指導を行った。

参加者からは、足のけいれんを起こした時の対応や給水のタイミングを尋ねる質問もあり、田畑部長は「けがの時はすぐに審判に伝えてほしい」とこたえていた。



今季の改正点を学んだルールクリニック